

お手入れ会場



式典の会場となった愛媛県武道館



式典全景

# 「第32回全国育樹祭」 レポート

全国育樹祭は、幅広い国民運動としての国土緑化運動の一環として、  
活力ある緑の造成気運を高め、次代への連帯性を深めることを目的として、毎年秋に行われています。  
第32回目となる今回は、10月25日(土)、26日(日)に愛媛県で開催されました。

## 今回のテーマは「育てよう 緑あふれる 日本」の未来」

開催地となった愛媛県では、平成一三年を「森林共生元年」と位置付け、森林の持つ公益的機能の重要性を改めて認識し、その恵みに感謝するとともに、森林を県民共有の財産として大切に守り育て、次の世代にしっかりと引き継いでいくため、県民参加による「森林と共有する文化の創造」に積極的に取り組んでいます。今回の育樹祭は、その取組を全国に向けて広くPRするとともに、一人一人が森林を守り育て、活力ある健全な森林をつくりあげていくという

気運をより一層高めていくことを目的としたものです。

「循環」（先人が植えた木々は世代を超えて育まれ、森林となって現在へと受け継がれました。その森林から、日々恩恵を享受している私たちの手によって、明日へと引き継ぐ森林づくりを行っていきましょうということ）を大会基本コンセプトに、そして、「育てよう 緑あふれる 日本」の未来をテーマとして、一〇月二五日（土）には皇太子殿下によるお手入れ行事、一〇月二六日（日）には式典行事が開催されました。お手入れ行事が行われた松山市久谷町の「久谷ふれあい林」は、昭和

四一年に開かれた第一七回植樹行事並びに国土緑化大会の会場です。その当時、昭和天皇、香淳皇后がスギをお手植えされました。今回は、県立中山高等学校特用林産科の高校生と坂本緑の少年団の介添えのもと、皇太子殿下がそのスギの根元に「森林土壌生成促進材」（森林整備で発生する枝葉や根株などをチップ化した炭化し、森林内に還元するもの）の散布を行いました。

初めての屋内開催会場として式典行事が行われた「愛媛県武道館」（松山市市坪西町）は、県内産の木材をはじめ、菊間瓦、大島石、砥部焼、絹製品などの県産品がふんだんに使



説明を受けている皇太子殿下



皇太子殿下による「森林土壌生成促進材」の散布



津島太鼓集団「雅」の太鼓演奏



緑の少年団入場行進

### 大会キャラクター

「E ~もりくん」



平成18年度に公募によって決定された大会キャラクター。愛媛の森を吹き抜けるさわやかな風、その風に髪をなびかせ森を育む愛媛の子供たちを表現するため、EHIMEの「E」の文字をモチーフに、明るく元気に森を守り育てる愛媛の子供をイメージしてデザイン化（デザイン作者は松山市在住の池田正誉さん）。EHIMEの「E」の文字をモチーフとしたデザインの趣旨を生かし、Eと木を守り育てていくイメージを感じさせる愛称（愛称作者は県立松山南高等学校の高月悠馬さん）。



みどりの贈呈



皇太子殿下によるおことば



緑の少年団などによる誓いのことば



熱唱する愛媛県出身の秋川雅史氏

用されている日本最大級のスケールを誇る木造施設です。皇太子殿下の御臨席を仰ぎ、石破茂農林水産大臣や林業関係者、県内外の参加者など、約三三〇〇人が式典に参加しました。式典前には津島太鼓集団「雅」によ

る太鼓演奏、西予市立野村中学校の箏曲部による琴演奏、愛媛県なぎなた連盟によるなぎなた演武などが行われました。そして、地元愛媛県出身のテノール歌手である秋川雅史氏が登壇し、大会イメージソング「愛

媛の歌」が披露されました。

その後、皇太子殿下が加戸守行愛媛県知事の御先導のもと御着席され、式典が始まりました。社団法人国土緑化推進機構副理事長の開会の言葉のあと、伊予市立郡中小学校の鼓隊に先導され、愛媛県内の緑の少年団が入場行進。大会会長、愛媛県知事の挨拶、愛媛県議長による歓迎のことばに続き、皇太子殿下によるおことばをたまりました。また、全国緑の少年団活動発表大会入賞団体、全国育樹活動コンクール入賞者、愛媛県緑化等功労者などの表彰式や、農林水産大臣から、全国緑の少年団代表へ「みどりの贈呈」も行われました。

式典の後半では、「美しい森林<sup>いのち</sup>のめぐりと輝き」〜世代を超えて伝えたいもの、残したいもの〜と題した表現ダンスが披露され、この時、秋川雅史氏が再び登場して、名曲「千の風になつて」を聴かせてくれました。そして、林業後継者代表、森林ボランティア代表、緑の少年団代表の誓いのことば、社団法人国土緑化推進機構理事長による大会宣言、次期開催県である長崎県知事の挨拶、松山市長の閉会のことばによって式

典は幕を閉じました。

式典後のエピソードでは式典音楽隊による松山市メッセージソング「この街で」の演奏、吹奏楽隊による楽曲「情熱大陸」の演奏、内子高等学校の郷土芸能部による太鼓演奏（五十崎「大凧出世太鼓」）などもあり、最後まで見逃せない演目が続きました。

会場となった愛媛県武道館の周辺には「おもてなし広場」と題した、森林に親しむことできる様々なブースが設置されており、来場者に大好評でした。また、併催行事として一〇月二五日には育林技術交流集会、全国緑の少年団活動発表大会も開催。さらに一〇月二六日（日）、一〇月二七日（月）には記念行事として「森林・林業・環境機械展示実演会」（全国の林業機械メーカーなどによる最新鋭機材の展示・実演）も行われました。

第三二回全国育樹祭の開催によって、多くの方々には様々な角度から森林に対して理解を深めていただけた大会となりました。

なお、来年の第三三回全国育樹祭は長崎県で開催予定です。